

様式第6号（第6条関係）

令和4年3月31日

朝来市議会議長 西本 英輔 様

会派の名称 朝来市創生の会

会派代表者の氏名 嵯峨山 博

経理責任者の氏名 松井 道信



令和3年度収支報告書

朝来市議会政務活動費の交付に関する条例第7条並びに同条例施行規則第6条第2項の規定により、令和3年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収入

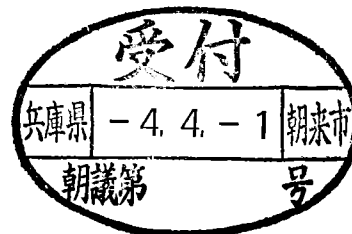
科目	金額	摘要
政務活動費	200,000 円	@10,000 円 X 4 名 X 5 ヶ月
計	200,000 円	

2 支出

科目	金額	摘要
調査研究費	円	
研修費	円	
広報費	16,788 円	広報誌（1月号）新聞折込料
広聴費	円	
要請・陳情活動費	円	
会議費	1,000 円	意見交換会：令和4年3月31日
資料作成費	円	
資料購入費	円	
計	17,788 円	


3 収支差引残額

収入総額 200,000 円 - 支出総額 17,788 円 = 182,212 円



令和 4年 3月 31日

朝来市議会議長 西本 英輔 様

会派の名称 朝来市創生の会
会派代表者の氏名 嗟峨山 博 

政務活動費の成果に関する活動報告書

朝来市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第3項の規定により、令和3年度政務活動費の成果について報告します。

記

1 活動事項

広報

2 実施日

令和4年1月27日(発行日)

3 参加議員氏名

—

4 活動内容

朝来市創生の会会派活動報告を行うため、朝来市創生の会活動報告(ACTIVITY REPORT)を10,000部発行し、市内全域に新聞折込等にて配布した。

5 成果

本号は朝来市創生の会活動報告創刊号として、新会派の設立・結成の趣旨を伝えるとともに、その理念を明らかにし会派の方向性を示した。さらに、第2回定例会における会派の対応や政策の論点を解説し、会派としての考え方を明らかにした。また活動報告として、市民との意見交換会を大蔵地域自治協議会と初めて実施できたこと。意見交換会を受けて後日に教育長・教育部長と面会を行い、当局と会派との意見交換によって、適切な要請を当局側に伝えることが出来たこと等を報告することが出来た。

6 支出内容明細

(単位:円) +

項目	費用総額	使用額	積算根拠
広報費	33,577	16,788	新聞折込料 33,577円 *政務活動費充当按分率 50%
合計	33,577	16,788	

令和3年度 政務活動費（広報費）充当経費の按分について

・対象広報按分比率について

朝来市創生の会では、過去の裁判例から「比率が具体的に判明している場合は、その内容で按分し、比率が具体的に判明しない場合には原則として2分の1の割合で按分する」とあることから、按分率50%を適用した。

尚、この度の広報誌（令和4年1月27日発行分）の按分比率については、以下のとおりである。

*総紙面面積

187.096 mm² 用紙B4：257 mm × 364 mm × 2（両面）

*充当除外面積

52.380 mm²

表面 237mm × 156 mm = 36.972 mm²

裏面 2ヶ所

107 × 72 = 7,704 mm²

7,704 × 2ヶ所 = 15,408 mm²

表面 36,972 + 裏面 15,408 = 52.380 mm²

*面積按分による場合の充当可能按分率

72% (>50%)

52.380 ÷ 187.096 = 27.9963... (≒28)

100% - 28% = 72%

*充当経費（按分率50%を適用）

16,788 円

費用総額 33,577 × 50% = 16,788 円

No. _____

領収証

() 広告 費

令和 4 年 / 月 24 日

¥ 33,577

内訳 新聞折込料

(株)ヴァン・トランスポート

No 00188

領 収 書

令和 4 年 / 月 24 日

朝来市 創生の会 殿

¥ 33,577

金額の訂正は無効

但し 消費税 ¥ 3,052 含む

上記金額領収致しました

1/27入 折込料

印
紙

株式会社 ヴァン・トランスポート

兵庫県姫路市飾磨区野田町20

(株) 電話 姫路支店

TEL (0792) 31-2000



令和 4年 3月 31日

朝来市議会議長 西本 英輔 様

会派の名称 朝来市創生の会
会派代表者の氏名 嵯峨山 博



政務活動費の成果に関する活動報告書

朝来市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第3項の規定により、令和3年度政務活動費の成果について報告します。

記

1 活動事項

会議費

2 実施日

令和4年3月31日 午後4時から6時

3 参加議員氏名

森下恒夫、嵯峨山博、藤原正伸、松井道信

4 活動内容

市の特産品である若手岩津ネギ生産に取り組む若者の生産者と意見交換会を実施

(参加者)

- ・朝来市創生の会 4名
- ・朝来市居住若手農業者 9名

(意見交換会概要)

- ・彼らの多くは、IターンやUターンによる新規就農者
- ・作付面積やネギ以外の生産品も多様
- ・ネギの出荷の現状の問題点の共有化
- ・ブランドを維持していくには
- ・更に効率を上げるには
- ・生産の拡大や合理化
- ・規格や出荷体制について
- ・新品種 (NI) 発売の脅威と対応策

などについて、積極的な意見交換会を実施した。

5 成果

朝来市特産品である岩津ネギは日本三大ネギとも言われているにも拘らず、なぜ生産量が向上しないか。なぜ儲からないのか。その要因はどこにあるのか。と言った課題から、将来の担い手である若手生産者の率直な気持ちに触れることが出来た。彼らは一様に岩津ネギに対して、深い愛情とこだわりを持って生産している実態も分かった。

生産者は、「岩津ネギ」というブランドに対しプライドを持って栽培に従事しており、その将来性においても高く評価し期待もしている。しかしながら将来に対する展望は、現状を踏まえて大きな危機感を抱きながら向き合っているといえる。こうしたことから市当局が担っている責任の重大さを認識するとともに、地域ブランドとしての岩津ネギだけでなく、特産品というもののありかたに理解を示すことが出来た。

6 支出内容明細

(単位：円)

項目	費用総額	使用額	積算根拠
会議費	1,000	1,000	公民館会場使用料
合計	1,000	1,000	

領収書

朝来市創生の会 殿

下記金額を受領しました

¥ 1,000 円

ただし、愛タウン公民館使用料

令和 4 年 3 月 3 / 日 住所 朝来市立脇 664-6

愛タウン自治会 澤田 薫

